

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の測定結果（合算値）

本市では、水道水の原水（淀川水、地下水）、浄水所で水処理を行った後の浄水、管末水（じゃ口から出る水道水）の水質測定を行い、各時期の結果を評価するとともに、濃度変化の有無を確認しています。

これまでの測定の結果は、時期によって多少のばらつきがありますが、PFOS及びPFOAの合算値はいずれも10ng/L程度で推移し、国が定めた暫定目標値（50ng/L）を下回っています。

また、明らかな濃度上昇は認められません。安心して水道水をご利用いただけます。

・1 ng/L：水1リットル中、10億分の1グラム

・暫定目標値：毎日2リットルの水道水を一生飲み続けても健康への悪影響が生じないと考えられるレベル

（単位：ng/L）

測定時期	泉浄水所 ^{※1}			片山浄水所			津雲配水場	蓮間高区
	淀川原水	浄水	管末水	地下水原水	浄水	管末水	管末水 ^{※2}	管末水 ^{※2}
令和2年12月	9	—	8	8	8	9	9	9
令和3年6月	16	7	7	8	8	10	11	11
令和3年12月	10	9	9	6	7	8	11	10
令和4年6月	9	9	9	9	8	8	8	9
令和5年2月	9	8	8	8	7	7	10	9
令和5年6月	6	7	7	8	7	7	11	—
令和5年9月	12	11	11	12	12	12	12	11
令和6年2月	9	7	7	13	9	9	9	8
令和6年5月	10	8	8	11	10	10	10	11
令和6年8月	12	10	10	12	11	11	12	11
令和6年11月	9	6	6	9	7	7	8	7
令和7年2月	8	7	7	6	6	6	8	8

※1 泉浄水所では、地下水も原水として利用していましたが、令和5年9月に停止しました。令和5年6月までの地下水原水の測定の結果、5未満でした。

※2 大阪広域水道企業団（原水は淀川水）から送られてくる水道水